

三野町の民間薬調査

生薬班（徳島生薬学会）

村上光太郎 ^{*1}	菅 愛 ^{*1}	越智 俊政 ^{*1}	中川 博之 ^{*1}	近藤 京子 ^{*1}	田中 直伸 ^{*1}
湯浅 修子 ^{*1}	梅本 怜美 ^{*1}	岡坂 衛 ^{*1}	河野 正治 ^{*1}	佐川 貴昭 ^{*1}	山崎 真知 ^{*1}
片岡 麻衣 ^{*1}	川口 陽祐 ^{*1}	駒木根 希 ^{*1}	白鳥 水紀 ^{*1}	田畑 麻美 ^{*1}	川添 和義 ^{*1}
高石 喜久 ^{*1}					

1. 目的

民間薬は、古来からの伝承により使われている物が多いが、メディアなどの影響で使われ始める物もある。中には、他の地域では見られず、その地で発祥したのではないかと思われるような民間薬もまれにみられる。また、時代の変化で新たに起きた要求、例えば、ウドのように、交通事故の後遺症である不定愁訴^{ふじょうしゅうそ}の解消に対する要求によって発生したものなどもある。

これら一時期の民間薬の内、ある物は受け継がれ、ある物は消えていく。消えていく物は、すべてが効果がない物であるとは限らない。しかし、効果のない民間薬は早く廃れ、効果があれば、次の世代へと受け継がれていきやすいのは事実である。とは言え、例え効果があっても、よりよい医療方法があって消えていく物もあるし、価値観の違いにより、消えていく物もある。

又、一度消えたかに思っていた民間薬が、逆に脚光を浴びる事もある。これらは、人体実験により得られたデータの大切さを物語っているに過ぎない。

医学の発達で、民間薬の重要性は減少しているようにも見える。その反面、健康雑誌やテレビなどのメディアに登場する民間薬は増えている。そのことは、民間薬の中には、現代医療に貢献できる何かを持っていることを示唆し、効果の高い民間薬の発掘が望まれている事を物語っている。そのためには、本当に有望な民間薬が消えて無くなる前に、記録に残し、科学的メスを入れ得る状態にしておかなければ

ならない。

2. 調査日と調査方法

2002年（平成14）7月31日から8月5日までの6日間、三野町の民間薬調査を行った。

民間薬の調査の方法は、各班員が各家を訪問し、在宅の人に限らず、田畑や山等で仕事をしている人、道を歩いている人など、人を見つけて民間薬の使用や記憶に残る民間薬について聞き取り調査をした。

過去における民間薬の調査（別表1）で、調査する人により、詳しく聞く人と、そうでない人との差が認められたので、今回も以下のような「民間薬調査の方法」のマニュアルを作り、それに従ってもらうこととした。

なお、今回からは、山で採って食べる（加工して・そのまま）物も調査した。

<民間薬調査の方法>

- (1) 道ばたの人、働いている人、家にいる人にかかわらず、人を見ると調査対象とします。
- (2) 最初に、徳島大学薬学部の者ですが、阿波学会の調査の一貫として民間薬調査をしています。ご協力をお願いしますと言って下さい。
- (3) 調査は、知っている民間薬、使ったことのある民間薬をたずねて、教えてもらう方法を取ります。名前を知っているだけ、人から聞いただけでも良いので教えてもらって下さい。良く効いたというのがあればそのことを記載して下さい。
- (4) ただ民間薬と言っても解らないことがあります

*1 徳島大学薬学部生薬学教室

- のでその場合は、傷には何か付けませんかとか、火傷には何か付けませんか、腹が痛いときはどうしますかなど実際の症状をあげて聞いて下さい。
- (5) それらの民間薬をほぼ聞き終わったら、さらに、重複しても良いので、特に動物を薬として使用するものがあるかどうか聞いて下さい。
- (6) 言われている民間薬が、自分たちの思っているのと同一でないと感じたときは、必ず、現物をもらうようにして下さい。
- (7) さらに、植物や動物以外で薬になるものがあるかどうか聞いて下さい。例えばショウユやミソなどの加工品、石などの鉱物などで効くものがあるかどうか。
- (8) これらがすべて聞き終わったら、今度はニワトリ、牛などの家畜、犬や猫などの小動物が病気になったときに使う薬を聞いて下さい。
- (9) 野や山にある物で、採集して食べる物があれば、聞いてください。
- (10) これらすべてを聞き終わったら終わりです。ありがとうございましたと言って帰って下さい。

3. 調査結果の集計

調査は、家をすべて訪問する事を目標としたが、廃屋や留守の家も多く、また幸運に人がおられても、民間薬は知らないと答えて、それ以上の質問に答えてくれない人もおられ、又数人の人に一度に聞いた場合は1件に数えたため、結局、調査件数は314件となった。

また、得られた結果の集計に当たり、熱冷まし、熱とり、などは「解熱」にしたり、体調を整える、体調を崩したときなどは「体調不良」とするなど統一化、簡素化につとめた。

町で得られた名称が、一般的でなく、又実物も確認できず、正しい動・植・鉱物名が判明しなかった物は省いて集計した。

4. 調査結果（別表3参照）

人の病気に使われる民間薬は、植物数151種、動物数38種、鉱物その他7種、混合で使う物5組（但し、製剤化された物は省いた数字。資料には記載し

ていない）。その結果、民間薬数として、総計196種が得られた事になる。この数は、今まで調査した他の地域の調査結果と比べると、少し少ない結果であった。また、食べられる物（薬用でない）は26種を得た。

動物に対して使われる民間薬すなわち動物用薬は、植物数12種、動物数2種、鉱物その他8種が得られた。動物用薬数は総計22種が得られたことになる。この結果は、他の地域の調査と、あまり違う結果となった。

調査の内訳を見ると、調査件数314件に対し、ドクダミは219件も出現し、非常に高頻度の出現であり、ドクダミが汎用されている生薬であることが判明した。次いで、アロエの170件、ヨモギの139件が高頻度に出た薬草である。以下、センブリの99件、ゲンノショウコの69件と続き、オトギリソウの47件、オオバコの40件、ユキノシタの37件、アケビ、イタドリの36件、タラノキ、ビワの32件と続いている。

動物では、マムシが138件とダントツで多く、多くの人がマムシの効果を期待している結果となった。他の動物の出現頻度は少なくミミズの11件、ムカデの10件が見られるものの、他は5件以下であった。

鉱物その他ではミソの5件が最高で、他は2件以下と少ない頻度であった。

今回初めて調査した、食べられる物（山菜など）は、ワラビの34件、ウド、ゼンマイの24件が多く、キイチゴの9件、ナワシログミの8件と続いた。薬用で使われている物の内、割合は不明ながら、アケビ36件、イタドリ36件、タラノキ32件、フキ29件、カキ28件、グミ10件、クリ8件などは薬用としても、食用としても使われている。これらは、食べられる物の数には入っていないので、実際に食用とされている植物はさらに多くなる。

動物用薬はトウガラシが一番多く、10件で、使用対象もニワトリの病気であり、昔は汎用されていたことが伺われる。次いでアセビやマタタビの6件で、ウシやネコの病気に使用されていた。

その他、特筆すべき事は、ツキミソウを栽培していた（契約栽培）ことと、2カ所の家庭で、昔はトリカブトを煎じて服用していたという人に出会った

ことである。健康を願ってのことではあるが、作用が激しく、毒性も強い物であり、非常に危険なことなので、注意が必要である。

又、イチジクの葉を煎じて、足温療法で水虫を治しているのは、興味ある使い方だ民間薬の合理性をかいま見た気がした。

地方名で面白い物に、タワラグサ(ウツボグサ)、ホネツギグサ(クサニワトコ)、チチクサ・ニンドウカズラ(スイカズラ)、ホタルグサ(スギナ)、タケフシニンジン(トチバニンジン)、ナカマッカ(ノビル)があった。カマッカはツユクサの地方名であるが、それと似てもいないノビルが菜カマッカという意味で呼ばれているのに驚いた。

また、近年良く宣伝されているヤーコンが4件も出たが、民間薬の変遷の一つとして、興味を引かれた。

出現した病名及び症状に使われている民間薬数を調べてみると、別表2のようになり、循環器関係が最も多く、次いで消化器関係、皮膚疾患関係、呼吸器関係、泌尿器関係、運動器関係、婦人科系疾患関係、眼科・耳鼻咽喉科関係と続いた。

個々の病名・症状別に使われている民間薬数を見ると、解熱に使われている民間薬が26種類と一番多く、以下腹痛17、神経痛17、風邪16、胃腸15、蜂・虫・ムカデ刺され13、切り傷12、高血圧11、糖尿病9、腎臓病9、肝臓病9、火傷9、腫れ物8、あせも8、膀胱炎7、止血7、疲労回復7、リウマチ7、喘息7、鎮咳7、癌6、便秘6、カブレ6、滋養強壯6等と続いた。

多種類の民間薬が使われているということは、その疾病が簡単には治らないために種類数が多くなったと考えられる場合と、緊急を要するため、手近にある多種多様の物を使っているために種類数が多くなったと考えられる場合がある。例えば、解熱、腹痛、蜂・虫・ムカデ刺され、切り傷、火傷、止血などは緊急を要するため、一番良い民間薬を選んで使うというよりは、手近にある物を使って治療することが優先し、種類が多くなっていると考えられるのに対し、神経痛、高血圧、糖尿病、腎臓病、肝臓病、膀胱炎、リウマチなどは治りにくいため種類数が多くなったのではないかと考えられる。

それらに対し、病名や症状としての出現回数が多い婦人病や眼科疾患、蓄膿症などは使用されている民間薬数が少なかった。このことは、それらの疾病に対しては特有の民間薬を使用しており、かつ効果も安定しているため多くの種類を捜さなくても良かったのではないかと考えられる。例えば、婦人病にはツチアケビ、ウツボグサ、ドクダミなどが、眼科疾患にはオオバコ、ナズナなどが、蓄膿症にはドクダミが使われていた。

文 献

- 1) 『民間薬の実際知識』東洋経済新報社 東丈夫、大竹茂清、村上光太郎 1-255 (1979)。
- 2) 『世界有用植物辞典』平凡社 伊沢凡人 1-493 (1989)。
- 3) 『よく効く民間薬100』マキノ出版 村上光太郎 1-270 (1998)。
- 4) 『薬草療法ハンドブック』法研 村上光太郎 1-206 (2000)。

別表1 民間薬調査

	調査地区		調査月日	調査 件数	植物数	動物数	鉱物 その他	動物 用薬	発行日	発表場所
1	祖谷松尾川流域の民間薬調査	1971	1971年7月31日～8月5日	523	216	59	19	-	1972年3月25日	阿波学会紀要18
2	海南町の民間薬調査	1971	1971年8月6日～8月11日	451	258	61	13	-	1973年9月12日	部誌
3	脇町の民間薬調査	1974	1974年4月4日～8日	638	205	57	14	-	1975年5月12日	部誌
4	神山町の民間薬調査	1976		489	196	52	7	-	1976年3月31日	部誌、阿波学会紀要22
5	山城町の民間薬調査	1977	4月5日～9日800件、 8月1日～3日168件、2度	968	254	81	33	-	1977年11月9日	部誌、阿波学会紀要24
6	貞光町の民間薬調査	1981	8月5日～10日		155	48	13	-	1981年11月1日	部誌、阿波学会紀要28
7	由岐町の民間薬調査	1993	1993年7月28日～8月2日	474	184	48	8	2	1994年3月20日	阿波学会紀要40
8	日和佐町の民間薬調査	1996	1996年8月1日～6日	157	130	42	5	6	1997年3月20日	阿波学会紀要43
9	井川町の民間薬調査	1997	1997年7月27日～31日	249	185	50	8	-	1998年3月20日	阿波学会紀要44
10	穴吹町の民間薬調査	1998	1998年8月1日～6日	305				-	1999年3月20日	阿波学会紀要45
11	神山町の民間薬調査2	1999	1999年7月31日～8月6日	469	192	42	6	20	2000年3月31日	阿波学会紀要46
12	佐那河内村の民間薬調査	2001	2001年7月25日～8月1日	365	164	49	12	27	2002年3月31日	阿波学会紀要48
13	三野町の民間薬調査	2002	2002年7月31日～8月5日	314	151	38	7	22		

別表2 関係別種類数

	植物数	動物数	鉱物その他数	計
消化器系関係	42	9	2	53
泌尿器系関係	31	3	0	34
循環器関係	51	12	0	63
運動器関係	29	1	2	32
皮膚疾患関係	36	8	3	47
呼吸器系関係	27	9	0	36
婦人科系疾患関係	8	2	0	10
眼科・耳鼻咽喉科関係	8	1	0	9

別表3 三野町の調査で得られた民間薬
薬用植物の部

植物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
アカメガシワ	アカメガシワ	葉、樹皮	癌予防	煎じて飲む。
アガリクス	アガリクス	全体	強壯	煎じて飲む。
アケビ	オベン、アズラ、 オウベン、オオ ベン、オオベン カズラ、オベン カズラ、ヤマナ ス、ヤマナスビ	果実、皮	胃腸、膀胱炎	煎じて飲む。食べる。
アサガオ	アサガオ	花、白花、 葉	止血、かゆみ止め、蜂・虫・ムカデ刺され	焼酎漬け。1年漬け込んだ物を塗布する。生を1. 揉んで貼る、2. 塩で揉んで貼る。
アザミ	アザミ	根	肝臓病、リウマチ	煎じて飲む。
アスナロ	アスナロ	葉	肝臓病、黄疸、胆嚢炎	煎じて飲む。
アセビ	アセボ	葉	シラクモ（有毒植物）	煎液をかける。
アマチャ	アマチャ	葉	腹痛	煎じて飲む。
アマチャズル	アマチャズル	全草	胃腸、食欲増進、夏ばて防止、利尿	乾燥後煎じて飲む。茶代用。
アララギ	アララギ	枝葉	糖尿病	煎じて飲む。
アロエ	アロエベラ、イ シャイラズ、イ シャナカセ	葉汁	火傷、切り傷、蜂・虫・ムカデ刺され、止血、鎮痛、かゆみ止め、あせも、出来物、草まけ、皮膚病、胃、腹、胃腸、胃もたれ、腹痛、便秘、消化不良、口内炎、高血圧、利胆、風邪、二日酔い	葉汁を薄めて飲む。葉を噛む。ハチミツを混ぜる。中身を食べる。裂いて塗る。焼酎漬け。煎じる。苦い物；お腹、苦くない物；切り傷。
イタドリ	イタズリ、イタズ ル、イタンボ、イ タンコ、イタズ	根、葉	虫刺され、腫れ物、解熱、解毒	煎じて飲む。食べる。貼る。
イチジク	イチジク	葉	水虫	沸かして足をつける。
イチヨウ	イチヨウ	葉、果実	ボケ防止	焼酎漬けを飲む。

植物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
イワタバコ	イワジシャ	葉	癌	乾燥後煎じて服用。
ウコン	ウコン	根	肝臓、胃痛、二日酔い、滋養、高血圧	煎じる。粉を炊く。すり下ろしてあるいはスライスして食べる。
ウツボグサ	タワラグサ	全草	婦人病、膀胱炎	乾燥後煎じて服用。
ウバユリ	ユリガネ、カタクリ	鱗茎	腹痛、足の腫痛	溶いて、湿布する。
ウメ	ウメ	梅肉エキス、果実、青梅、梅酒、梅干し、梅肉、梅仁	腹痛、胃痛、腸炎、夏ばて、疲労回復、頭痛、腐敗防止、血液浄化、化粧水	こめかみに付ける。煮詰める。仁の焼酎漬け。味噌・砂糖・梅肉を炊き詰める。酢・砂糖で炊く。
ウメノキタケ	レイシ、バイキセイ (梅寄生)	全体	二日酔い、癌	煎じて飲む。
ウラジロガシ	ウラジロガシ	葉	尿路結石、胆石、各種結石	陰干しして、煎じて飲む。
エビスグサ	ドクケシ、ハブチャ	種子	美容、健康、ニキビ、便秘、解毒、胃腸、腹痛	赤茶色の実を乾燥後、1. 砕いて煎じる、2. 炒って煎じて飲む。
オウレン	オウレン	根茎、根	胃	煎じて飲む。
オオバコ	シャゼンシ	種子、葉	腹痛、胃腸、風邪、百日咳、鎮咳、喘息、便秘、肝硬変、膀胱炎、血尿、神経痛、切り傷、化膿、下痢、解熱、打ち身、血圧、眼病 (眼底の水分の流れがよい)	塩で揉んで、乾燥した物でも、煎じて飲む。
オケラ	オケラ	根茎	解熱	煎じて飲む。
オトギリソウ	オトギリソウ	全草	神経痛、リウマチ、足の痛み、鎮痛、解熱、貧血、内臓一般、頭痛、腹痛、風邪	煎じて飲む、焼酎に1年漬けて飲む。
オミナエシ	オミナエシ	根	胃腸虚弱	煎じて飲む。
オモト	オモト	葉	中耳炎	耳の中に搾って入れる。
カイニンソウ	カイジンソウ	全草	回虫駆除	煎じて飲む。
カキ	シブガキ、オサルガキ	葉、蒂、果実、カキ渋	血圧、風邪、神経痛、漆かぶれ、動脈硬化後遺症、中風	陰干しにして煎じて飲む。食べる。煎液で洗う。茶代用。
カキドオシ	カキゾウシ、カキゾウチ、ゼニクサ、カキドウシ	全草	糖尿病	煎じて飲む。
カシノキ	カシノハ	葉	リウマチ、血圧	乾燥後煎じて飲む。
カラスウリ	カラスウリ	根	婦人病	乾燥後煎じて飲む。
カラハナソウ	カラハナソウ	葉、蔓	血圧降下	乾燥後煎じて飲む。
カリン	カリン	果実	口内炎、鎮咳、風邪、喉が痛いとき	焼酎漬けを飲む。
カワラケツメイ	カワラケツメイ	全草	胃腸虚弱	乾燥後煎じて飲む。
カワラヨモギ	カワラヨモギ	葉	肝臓病、肝臓癌、胃癌	煎じて飲む。
カンゾウ	カンゾウ	根	飲みやすくする	甘味付け。
キウイ	キウイ	果実	胃腸	食べる。
キキョウ	キキョウ	根	咽喉痛	煎じて飲む。
キク	キク	葉	腫れ物	揉んで貼る。
キササゲ	キササゲ	実	腎臓病	乾燥して煎じる。
キハダ	オウバ、オウバク、キワダ	樹皮、葉	(樹皮) 止血、腎臓病、胃腸、(葉) 体調不良	お正月に七草粥に入れる (葉)。
キュウリ	キュウリ	汁	火傷	果実を瓶に入れて腐らす。
キランソウ	キランソウ	全草	神経痛	乾燥後煎じて飲む。
キンカン	キンカン	果実	風邪、喉	焼酎漬けを飲む。
クコ	クコ	枝、葉、果実	肝臓病、風邪、体調不良、高血圧、強壯	煎じて飲む。焼酎漬け。
クサギ	クサギ	葉	解熱、化膿	塩揉みして貼る。
クサニワトコ	ホネツギグサ	葉、茎	打撲、ねんざ	葉を揉んで湿布する。
クズ	クズバカズラ	根	疲労回復、整腸	デンプンをとって片栗粉のようにして使う。
クチナシ	クチナシ	果実	肝機能改善	煎じて飲む。
クマザサ	クマザサ	葉	風邪	茶代用。
クマヤナギ	クマヤナギ	葉、蔓	胆石	煎じて飲む。
グミ	グイミ、グユミ、トウグミ、ナワシログミ、ナツグミ	枝、葉	結核、肺病	黒焼き。食べる。
クリ	クリ	葉、果実	漆 (ハゼ) かぶれ	煎じて洗う。食べる。

植物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
クワ	クワ	果実、葉	滋養強壯	食べる。
ゲンノショウコ	ミコシグサ、オミコシグサ、イシャダオシ、イシャイラズ	全草	風邪、解熱、胃腸、腹痛、整腸、下痢、神経痛、リウマチ、高血圧、体調不良	乾燥後、煎じて飲む。
コオタケ	クロタケ	全体	下剤	煎じて飲む、焼酎に漬けて飲む。
ゴボウ	ゴボウ	葉	神経痛、リウマチ	葉を揉んで貼る。
ゴマ	ゴマ	種子	体調不良	食べる。
コムギ	コムギ	種子、粉	火傷	水で溶いて塗る。
ザクロ	ザクロ	果実	虫下し、糸虫駆除、回虫駆除	煎じて飲む。
ササ	ササ	葉	疲労回復	煎じて飲む。
サトイモ	ズキ	ズイキ	血行をよくする、産後によい	味噌汁に入れて食べる。
サフラン	サフラン	雌しべ	風邪、解熱、下痢	振りだしとする。
サルトリイバラ	カラタチ	葉、果実	糖尿病	煎じて飲む。
サルノコシカケ	ジイノシリスケ	全体	癌	煎じて飲む。
シイタケ	シイタケ	全体	高血圧	乾燥後一晩水に入れる。
シキミ	シキビ	葉	水虫（ハクセンキン）	炊きだしエキスにして塗る。
シソ	チソ、アカジソ、アオジソ	葉、茎	止血、蜂・ムカデ刺され	揉んで汁を付ける。
シャクヤク	シャクヤク	根	動脈硬化後遺症	煎じて飲む。
ジャノヒゲ	ジョジョダマ、小葉麦門冬	塊根	解熱	乾燥後煎じて飲む。
シュロ	シュロ	果実	腰痛	陰干し、粉末にして飲む。
ショウブ	ショウブ	根茎	腰痛	風呂に入れる。
シラカシ	シラカシ	葉	腎臓結石	煎じて飲む。
スイカ	スイカ	果実	腎臓病	果汁を煮詰める。
スイカズラ	チチクサ、ニンドウカズラ	葉、蔓	扁桃腺炎、神経痛	乾燥後煎じて飲む。
スギナ	ホタルグサ、ツクツクボウシ	地上部	膀胱炎、腎臓病、腎機能快復（透析）、足の浮腫、心臓病、婦人病、卵巣関係の病、利尿剤、体調不良	煎じて飲む。
ステビア	ステビア	葉	飲みやすくする	甘味付け。
センダン	センダ	皮	虫下し	煎じて飲む。
センブリ	センブリ、トウヤク	全草	胃弱、胃もたれ、胃痛、腹痛、二日酔い、胃のむかつき、食べ過ぎ、飲み過ぎ、胸焼け、鎮痛、神経痛、高血圧、便秘、毛生え薬	乾燥後煎じて飲む。降り出す。かみしめる。煎じて患部に塗布する。
ソテツ	ソテツ	果実	踏み抜き（錆が取れる）	味噌と混ぜて焼いてクギ等を刺した部分に塗る。
ソバ	ソバ	種子	高血圧	食べる。
ダイコン	ダイコン	根	胃痛、風邪、喉の痛み	すり下ろす。食前に食べる。
ダイコンソウ	ダイコンソウ	葉	腹痛、腎臓病、解熱	煎じて飲む。
タケ	孟宗竹など、チクタン	皮、葉、筍、炭	殺菌効果、防腐作用、下痢、あせも、アトピー、かゆみ止め	落ちていた皮を干す。風呂に入れる。黒焼き。
タケニグサ	タケニグサ	葉	魚の目、水虫	葉を揉んで付ける。
タバコ	タバコ	葉、灰	切り傷、蜂刺され	揉んで付ける。
タマネギ	タマネギ	皮	高血圧、血液浄化、糖尿病、アブ・蜂・虫刺され	乾燥後煎じる。水洗いせずそのまま酢に漬ける。汁を付ける。輪切りにし擦り込む。
タラノキ	タラ、タラノメ、タラメ	皮、根皮、芽、木部	糖尿病、肝臓病、腎臓病、癌予防	煎じて飲む。食べる。
タンポポ	タンポポ	根、葉、花	胃腸、喘息	乾燥後煎じて飲む。
チャ	バンチャ	葉	ムカデ刺され、滋養	揉んで貼る。
チョウセンニンジン	チョウセンニンジン	根	疲労回復、強壯	乾燥後煎じて飲む。
ツキミソウ	ツキミソウ	油	コレステロール改善	契約栽培。
ツチアケビ	ツチアケビ	全体	婦人病	煎じて飲む。焼酎漬け。
ツククサ	カマソ、カマソカズラ、カマツカ、カズラ、カマソノフシ	草、節	神経痛、化膿	乾燥して粉にする。ネバネバの液を塗る。揉んで押しつける。

植物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
ツワブキ	ツワブキ	葉	切り傷、化膿	揉んで貼る。
トウガラシ	トウガラシ	果実	食欲増進	味付けに使う。
トウモロコシ	トウキビ	毛(ひげ)、穂(茶色)	腎臓病、高血圧、利尿剤、糖尿病	乾燥後煎じて飲む。炒って粉にし一皿ずつ茶にして飲む。
ドクダミ	ジュウヤク、ドクダミソウ	全草	胃腸、腹痛、神経痛、鎮痛、風邪、喘息、扁桃腺、解熱、高血圧、食中毒、便秘、夏ばて、肝硬変、膀胱炎、血尿、利尿剤、解毒、健康保持、化粧品代用、腫れ物、吸い出し、湿疹、あせも、火傷、アレルギー、魚の目、よう、切り傷、虫刺され、化膿、蓄膿、アトピー、頭痛、冷え性、婦人病	乾燥して煎じて飲む。茶代用。焼いて貼る。ゴボウ(クワ、イチジク)の葉でドクダミを包み火で炙ってドロドロにする。焼いて湿布する。濡れた新聞紙で包んで熱灰に入れる。揉んで貼る。風呂に入れる。ミキサーにかけ、焼酎漬けにし風呂に入れる。トイレに入れる。冷蔵庫に入れる。
トチバニンジン	タケフシニンジン、ニンジン	根	胃、腸	焼酎漬け。煎じて飲む。
トマト	トマト	果実	火傷	汁を塗る。
トリカブト	トリカブト	塊根	神経痛、慢性病	昔は飲んでいた。
ナス	ナスビ	蒂、葉	扁桃腺	乾燥後煎じて飲む。
ナズナ	ナズナ	葉	眼底出血、止血、目の出血、涙目	乾燥後煎じて飲む。
ナタマメ	ナタマメ	莢、全体	肝機能低下、コレステロール改善	茶代用。
ナデシコ	ナデシコ	種子	生理不順	煎じて飲む。
ナルコユリ	ナルコユリ	根茎	腫れ物	すり下ろして貼る。
ナンテン	シロナンテン、アカナンテン、ナルテン	果実、葉	目薬、鎮咳、喉が痛いとき、解毒、食中毒	乾燥後煎じて飲む。水飴で煮込む。
ニガウリ	ゴーヤ、ツルレイシ	果実	夏ばて	食べる。
ニガキ	ニガキ	枝	糖尿病、胃痛	煎じて飲む。
ニッケイ	ニッキ	根皮	風邪	乾燥後煎じて飲む。
ニラ	ニラ	葉	胃腸、喘息	食べる。
ニワトコ	ニワトコ	根	利尿剤、腎臓結石	乾燥後煎じて飲む。
ニンニク	ニンニク	鱗茎	強壯	食べる。
ネギ	ネギ	葉	胸焼け	味噌を付けて食べる。
ノビル	ナカマッカ	葉、鱗茎	神経痛、リウマチ	味噌を付けて食べる。
ハコベ	ハコベ	葉、根	解熱、目	塩で揉んで飲む。乾燥後煎じて飲む。
パセリ	パセリ	葉	解毒	刺身と一緒に食べる。
ハチク	ハチク	葉、稈	漆かぶれ	煎じて患部に塗布。
ハトムギ	ハトムギ	種子	便秘、美容、健康、ニキビ	煎じて飲む。
ヒガンバナ	マンジュシヤゲ	鱗茎	打ち身、解熱、関節浮腫、膝の水が溜まってきたら、熱とり(湿布)、腫れ物、神経痛	1. メリケン粉と練って貼る。2. オリーブの果実と混ぜて足の裏に貼る。潰して貼る。3. トウゴマと混ぜて酢を加えて足の裏に貼る。
ヒトツバ	ヒトツバ	葉	腰痛、腫れ物	煎じて飲む。
ビワ	ビワ	葉、生葉	解熱、疲労回復、神経痛、血圧、茶代用、肝臓病、腎臓病、肝硬変、膀胱炎、血尿、癌、鎮痛、リウマチ、滋養強壯、酔い止め	乾燥後煎じて飲む。陰干しにして痛いところに貼る。炙って貼る。焼酎漬け。
フキ	フキ、ヤマブキ	葉、蕾、茎	切り傷、止血、虫刺され、風邪、鎮咳、腫れ物	揉んで汁を付ける。食べる。
ブクリョウ	ブクリョウ	全体	肝臓病	煎じて飲む。
フジ	フジ	瘤	子供の熱、疳	煎じて飲む。
フユノハナワラビ	カンワラビ	全草	風邪、解熱	煎じて飲む。
フヨウ	シロムクレ	白花	アデノイド、気管支炎、扁桃腺炎	乾燥後甘草と共に煎じて煎液でうがいする。
ベニバナ	ベニバナ	花卉	肺病	煎じて飲む。
ハウセンカ	ハウセンカ	白花	鎮咳、神経痛、虫刺され、かゆみ止め、あせも、皮膚疾患	焼酎漬け(1カ月以上)にした液を塗布する。
ホオノキ	ホオノキ	皮	健胃、喘息	乾燥後煎じて飲む。
マタタビ	マタタビ	果実	疲労回復、滋養強壯、腰痛、動脈硬化後遺症、神経痛、不眠症	乾燥後煎じて飲む。焼酎漬けを飲む。
マツ	マツ	葉	解熱、痴呆症、神経痛	エキス、焼酎に漬ける。
マツグミ	ツグミ、ツゲミ	枝、葉	腎臓病	煎じて飲む。
ミカン	ミカン	皮	保温、食欲増進	焼酎漬け。
ミブヨモギ	ミブヨモギ	葉	蚊取り線香	くゆらす。

植物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
ミョウガ	ミョウガ	花	夏ばて	食べる。
モチゴメ	モチゴメ	米	漆（ハゼ）かぶれ、あせも	たたいて粉にして塗る。
モモ	モモ	葉	あせも、漆（ハゼ）かぶれ	煎液で洗う。風呂に入れる。
ヤーコン	ヤーコン	イモ	糖尿病、高血圧、血液浄化	乾燥後茶代用。
ヤナギ	ヤナギ	葉	解熱	煎じて飲む。
ヤブコウジ	ヤブコウジ	全草	解熱	煎じて飲む。
ヤブラン	テッポウダマ、大葉麦門冬	塊根	鎮咳	煎じて飲む。
ユキノシタ	ユキノシタ	葉、葉汁	解熱、心臓病、切り傷、出来物、中耳炎、耳が痛いとき、赤ちゃんの便秘	煎じて飲む。揉んで貼る。汁を飲ませる。青汁を耳に入れる。塩で揉む。
ユズ	ユズ	種子	炎症	煎じて飲む。
ヨモギ	ヨモギ、ヨゴミ、モチグサ	葉、茎	止血、切り傷、蜂・虫・ムカデ刺され、蚊よけ、あせも、腫れ物、鼻血、排膿、血液浄化、血行促進、足の痛み、湿疹、腹痛、胃腸、胸焼け、肝硬変、膀胱炎	乾燥後煎じて飲む。揉んで付ける。揉んで汁を飲む。揉んで鼻に入れる（塩で揉むと更に良い）。風呂に入れる。茶代用。布団に入れる。湿ったまま火を付けてくゆらす。乾燥して燻す。
ラッキョウ	ラッキョウ	鱗茎	糖尿病	3カ月続けて食べる。
ラン	ラン	花粉（実）	止血	塗布する。
リンドウ	リュウタン	根	胃腸	煎じて飲む。
ワサビ	ヤマワサビ	葉汁	毒消し	食べる。

薬用動物の部

動物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
アオダイショウ	アオダイショウ	皮	滋養強壯	焼いて食べる。
アマガエル	アマガエル	全体	内臓に効く	生きたまま飲む。
アメゴ	アメゴ	胆嚢、キモ、膵臓	腹痛	食べる。
アユ	アユ	内臓	切り傷、胃腸	乾燥。うるか。
アリジゴク	ベコベコ	全体	子供の熱、疳	煎じて飲む。
イカ	イカ	甲	止血	骨を粉にして塗る。
イセエビ	イセエビ	皮	解熱	煎じる。
イナゴ	イナゴ	全体	風邪、解熱	乾燥後煎じて飲む。そのまま焼いて食べる。
イノシシ	イノシシ	胆嚢、キモ、膵臓	腹痛	飲む。
イモリ	イモリ	全体	痔、痔瘻	黒焼きを粉末にして塗布する。
ウシ	ウシ	胆嚢	胃薬	飲む。
ウナギ	ウナギ	全体	疲労回復	食べる。
オケラ	ケラ	全体	肺病	黒焼き。
カエル	カエル、サンギン	全体	虚弱体質	焼いて食べる（背中に2本線がある物）。
カタツムリ	デンデンムシ	全体	疳	焼いて食べる。
カニ	カニ	全体	漆かぶれ、あせも	布に巻いてたたいて汁をだして付ける。
カワガラス	サンザイ、タニガラス	全体	血の道、のぼせ、産後	黒焼き末を飲む。
クマ	クマ	胃、胆嚢、キモ、膵臓	胃腸、腹痛	煎じて飲む。
クモ	クモ	全体	蜂刺され	潰して付ける。
コイ	コイ	生き血	子供の肺炎	飲む。
コオロギ	コオロギ	全体	解熱	煎じて飲む。
サカナ	サカナ	胆嚢、キモ、膵臓	腹痛	飲む。
サル	サル	胆嚢	腹痛	飲む。
サワガニ	ジガニ	全体	かぶれ	潰してガーゼにくるんで付ける。
シカ	シカ	角	解熱	煎じて飲む。
シジミ	シジミ	全体	肝炎	汁にする。
セミ	セミ	抜け殻	解熱	煎じて飲む。
タスキ	タスキ	脂	喘息、腎臓病、血尿	脂を飲む。
ナメクジ	ナメクジ	全体	喘息、扁桃腺、火傷	煎じて飲む。生きたまま飲む。食用油の中に入れる。

動物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
ニワトリ	ニワトリ	卵	ねんご	卵+ウドンコ+酢で湿布する。
ネズミ	ネズミ	全体	夜尿症	焼いて食べる。
ヘビ	タツジマ	全体、皮	滋養強壮、解熱、肺病、肋膜炎	焼酎漬け。
ホトトギス	ホトトギス	全体	血の道	黒焼き。
マムシ	ハメ	皮、骨、身、キモ	化膿、排膿、出来物、ものもらい、水虫、虫・ムカデ刺され、切り傷、歯痛、口内炎、結核、精力増強、神経衰弱、解熱、滋養強壮、心臓病、肺に水が溜まった、風邪、夏ばて、熱中症	焼酎漬けを塗布。飲む。皮を乾燥後湿らせて貼る。切って貼る。焼いて食べる。黒焼き。乾燥して粉にして飲む。蒲焼きのようにして食べる。焼酎に漬けたものを蒲焼きにする。痛い所。膿んだ所に貼る。
ミツバチ	プロボリス、ハチミツ	針、ハチミツ	鎮咳、肩こり、打ち身	湯に溶かして飲む。
ミミズ	ミミズ	全体	解熱、百日咳、肺炎	乾燥後煎じて飲む。
ムカデ	ムカデ	全体	虫・蜂・ムカデ刺され、火傷、切り傷	ビンに入れて油浸け(生きたまま)。焼酎漬け。すりつぶして塗布。
モグラ	オグロモチ	全体	切り傷、打ち身	焼いて油と混ぜて塗る。

薬用鉱物・その他の部

鉱物名	地方名	薬用部位	病名・症状・効果	使用方法・備考
アンモニア	アンモニア		ムカデ刺され	塗布する。
クエンサン	クエン酸		筋肉痛・予防	茶に混ぜて飲む。
シオ	塩		赤ちゃんの病気に、腰の痛いとき	フライパンで炒って暖め袋に入れて患部を暖める。
ショウユ	醤油		火傷	塗布する。
ス	酢		口内炎	体をアルカリに。
スミ	炭		腹薬	飲む。
ミノ	ミノ(味噌)		火傷、切り傷、止血	塗布する。

動物用薬

薬用植物の部

植物名	地方名	薬用部位	使用動物・病名・症状	使用方法・備考
アザミ	アザミ	葉、根	牛の解熱	炊いて食べさせる。
アセビ	アセビ	葉	殺虫剤、馬牛など各種の動物のノミ取り	煎液を野菜や体にジョロでかける(沸かして、炊いて)。
ウメ	ウメス、梅酢	梅酢	牛の日射病、牛の風邪	荒塩に浸けて出てきた梅酢を飲ませる。
カラムシ	ヒユウジ	葉	犬が食べて胃の中の物を出す	食べさせる。
カンゾウ	カンゾウ	根	牛の薬	煎じて飲ませる。
タンポポ	タンポポ	根	牛の乳房炎	煎じて飲ませる。
トウガラシ	トウガラシ	果実	鶏が弱ったとき、元気になる	乾かして。水に浸けて。
ビワ	ビワ	葉	牛の乳房炎	煎じて飲ませる。
フジ	フジカズラ	根	牛の疲労	小さく切って食べさせる。
マキ	マキ	スス	鯉、魚の弱ったとき	鉢にそのままススを入れる。
マタタビ	マタタビ	果実	猫が弱ったとき、猫の病気	食べさせる。煎じて飲ませる。
ヨモギ	ヨモギ	葉	牛のシラミ取り	食べさせる。

薬用動物の部

動物名	地方名	薬用部位	使用動物・病名・症状	使用方法・備考
サイカク	犀角	角	牛の解熱	煎じて飲ませる。
ニワトリ	ニワトリ	卵の黄味、卵の白身	犬の病気、猫の毒を吐かせる	飲ませる。

薬用鉱物・その他の部

鉱物名	地方名	薬用部位	使用動物・病名・症状	使用方法・備考
アブラ	テンブラ油、シヨクヨウアブラ		犬が毒を飲んだとき、猫が吐いたとき	飲ませる。
イオウ	硫黄	粉	犬・猫が弱っているとき、猫の腰が立たなくなったとき	水に溶いて飲ませる。

鉱物名	地方名	薬用部位	使用動物・病名・症状	使用方法・備考
シオ	塩		牛の解熱	舌に塗る。
テツ	鉄		牛の健康（鉄分補給）	鉄の鍋に水を入れて牛に飲ます。
ドウ	銅		猫が弱ったとき	擦って粉にして飲ます。
ニガリ	ニガリ		牛の日射病	飲ませる。
ビール	ビール		牛に飲ませる	毛並みが良くなる。
ミソ	ミソ（味噌）		牛の鼻後の止血、暑いときに水に溶いて牛に飲ます	飲ませる。

食べられる物

植物名	地方名	食用部位	備考
アシタバ	アシタバ	葉、茎	食べる。
ウド	ウド	新芽	天ぷら。お浸し。酢味噌和え。
オニユリ	オニユリ	鱗茎	食べる。
キイチゴ	キイチゴ、キイロイチゴ、サガリマメイチゴ、スズメイチゴ、スルメイチゴ	果実	食べる。
クサイチゴ	ノイチゴ	果実	食べる。
ケンボナシ	テンボナシ	果実	食べる。
サンショウ	サンショウ	葉	食べる。
シイノキ	シイノミ	果実	食べる。
シメジ	アカタケ	全体	食べる。
スイバ	スイクサ	茎	塩を付けて食べる。炊いて食べる。
セリ	セリ	葉	食べる。
ゼンマイ	ゼンマイ	新葉	茹でて干して灰汁抜きをして、食べる。
ツクシ	スギナ	ツクシ、葉	食べる。
ツツジ	ツツジ	花	食べる。
ナワシログミ	シャシャブ、シャシャボ	果実	食べる。
ノブドウ	ノブドウ	果実	食べる。
ハッサク	ハッサク	果実	食べる。
マイタケ	マイタケ	全体	食べる。
マツタケ	マツタケ	全体	食べる。
ミツバ	ミツバ	全体	食べる。
ムクノキ	ムクノミ、モク	果実	食べる。
ヤマノイモ	ヤマイモ	芋	食べる。
ヤマブドウ	ヤマブドウ	果実	食べる。
ヤマユリ	ヤマユリ	鱗茎	食べる。
ヨモギ	ヨモギ	新芽	食べる。
ワラビ	ワラビ	新葉	食べる。